

校内研究だより

NO. 5

川崎市立上丸子小学校校内研究ワーキング 令和元年 12月25日(水)

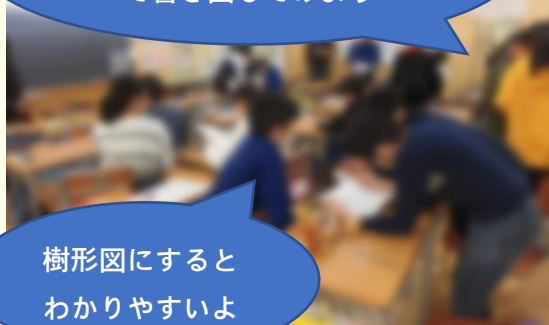
第5回校内授業研究(算数)の様子についてお知らせいたします。

6年生「場合の数」

3組「コインの点数に偏りがあることを並べ方や組み合わせの考えを使って解明しよう」

(3回の時) 全ての場合を調べるには、どうすればよいのだろう。

どんな場合があるのかすべて書き出してみよう



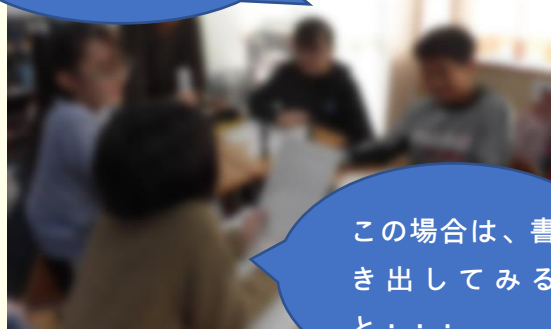
樹形図にするとわかりやすいよ

4回目を投げたとき、どんな偏りが予想されるだろう。

3回投げた時のコインの表裏の結果にはどんな場合があるのかを調べ、その結果をもとにコイン4回の場合の結果を予想し、図や表を使ってその根拠を説明しました。

2組「生活の中で並び方や組み合わせのできる問題をつくろう」

どの考え方が使えるかな



この場合は、書き出してみると・・・

これまでに学んだことを生かして生活の場面のできる「場合の数」の問題づくりをしました。グループで問題を解きあったり説明したりする活動を通して、生活の場面でも生かされていることに気づきました。

見通しをもって課題に取り組み、自らの学びを振り返る姿、生活と学びを結びつけて生かそうとする姿を育んできました。課題に対して様々な解決方法を見出せた今回の単元では、友達との交流を通して自身の考えが深まり、学び合うことの良さを実感していく様子が見られました。今後も子どもたちの主体性を尊重した授業づくりを目指していきます。

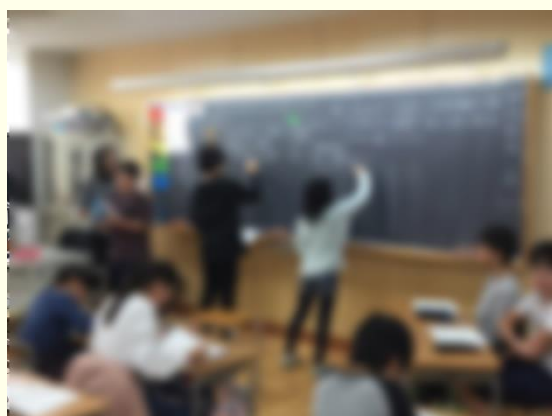
5年生「速さ」

3組「道のりも時間も違うとき、どのようにしたらよいだろう」



道のりや時間が違う時の「速さ」の比べ方について考えました。友達のノートを見て、考え方を比べる中で、自分の考えに自信をもったり、違う考え方を説明しあったりして、学びが深まっていく様子が見られました。

4組「速さを比べるには、どんな方法がよいか考えよう」



一人ひとりがめあてをもち、日直が中心となって話し合いを進めながら、自分たちで学習を上げていました。考え方がいくつか出た中で、それぞれの比べ方のよさの特徴をとらえながら考えをまとめ、丁寧に振り返っていました。

学年全体で主体的に学ぶことのできる子どもを育てるために、「めあて、話し合い、振り返り」に重点を置いて授業をしてきました。授業では、複数の考え方があった中で、それぞれの考え方の良さを見つけていく様子が見られました。今後も子どもたちの学習への意欲や思いを大切にしながら、多様な考えに触れる中で、一人ひとりにとって価値ある場となるようにしていきます。

次回の授業研究は1月17日（金）

1年生と2年生です。